

## 実践『ペルソナ』通信 (No.112)

### 「通学バッグ」に関する調査

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「通学バッグ」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

#### はじめに

女子大生が日ごろから使っている必需品として「通学バッグ」があります。通学バッグは毎日使っているからこそ、おしゃれにそして自分らしく持ち運びたいものです。そこで今回の調査では、イマドキの女子大生の通学バッグについて、調べていきます。

#### 総括

今回の調査を通して、実践女子大学生の通学バッグは「トートバッグ」が多く、7割以上の方が通学バッグを2個以上所有しており、荷物の量によって使い分けていました。色やデザインは「黒系・白系」や「無地」といったシンプルなものが好まれていました。購入場所は実店舗が多く、買い替えのタイミングは汚れて古くなったときで、価格については1万円以下が多く、毎月自由に使用できる金額の影響を受けていました。通学バッグで重視されている点は「大きさ」「デザイン」が多く、悩んでいる点としては「肩が痛くなること」で、理想の通学バッグは「大容量」かつ「軽い」ことが多くあげられていました。

#### Topics

- (1)最も使われる通学バッグはトートバッグ
- (2)7割以上が通学バッグを2個以上所有しており、荷物の量に合わせて使い分けている
- (3)通学バッグの価格は約8割の人が1万円以下
- (4)毎月自由に使用できる金額が多い人は高額な通学バッグを使用する傾向がある
- (5)通学バッグに多くの方が満足しており、通学時以外にも使用している
- (6)通学バッグの色やデザインは落ち着いている
- (7)通学バッグでは大きさ、デザインが重視される
- (8)多くの方が汚れて古くなってきたときに通学バッグの買い替えを検討する
- (9)現在使用している通学バッグで気に入っている点はデザイン
- (10)現在使用している通学バッグで悩んでいる点は肩が痛くなること
- (11)求められる通学バッグは大容量で軽いもの

## 調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 篠崎礼衣・阿部瞳・中田果歩・阿部涼花

## 調査概要

- ・調査対象：実践女子大生 1～3 年生
- ・調査方法：Google フォームによるインターネット調査
- ・調査期間：2023 年 6 月 24 日（月）～6 月 25 日（火）
- ・有効回答者数：139 名
- ・回答者の属性：1 年生（81.3%）、2 年生（2.9%）、3 年生（15.8%）

## 調査結果

### (1) 最も使われる通学バッグはトートバッグ

現在使っている通学バッグの形状は、「トートバッグ」が 63.3%と最も多く、次いで「リュックサック」が 23%でした。「ショルダーバッグ」は 12.9%、「その他」が 0.8%で、その他の回答として「オフィスバッグ」があげられました（図1）。

それに関連して、通学バッグの大きさについて調査したところ、「中サイズ（ノートパソコンや A4 書類が入る大きさ）」が 91.4%と最も多く、「大サイズ（一泊旅行の荷物が入る大きさ）」が 8.6%、「小サイズ（ノートパソコンや A4 書類が入らない大きさ）」は 0%という結果でした（図2）。

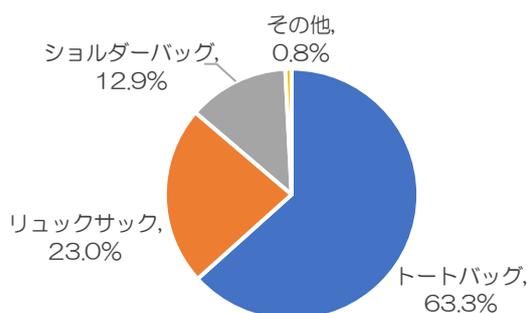


図1. 使用している通学バッグの種類  
(N=139)



図2. 使用している通学バッグの大きさ  
(N=139)

### (2) 7割以上が通学バッグを2個以上所有しており、荷物の量に合わせて使い分けしている

通学バッグの所有数について調査したところ、「1 個」が 23%、「2 個」が 37%、「3 個」が 28%、「4 個」が 8%、「5 個」が 2%、「6 個」が 2%と、7 割以上が通学バッグを 2 個以上所有していました（図3）。

また、2 個以上通学バッグを所有している方に使い分ける理由を質問したところ「荷物の量に合わせるため」が 64.3%、「服装と合わせるため」が 32.1%、「その他」が 3.6%と、

多くの人が荷物の量に合わせて複数のバッグを使い分けていました（図4）。その他の回答として、「壊れたとき用」、「パソコンを持っていくときはクッション性の高いバッグを使用したい」、「急ぎの予定があるときに走るため、中身が出ないようにリュックを使う」などがあげられました。

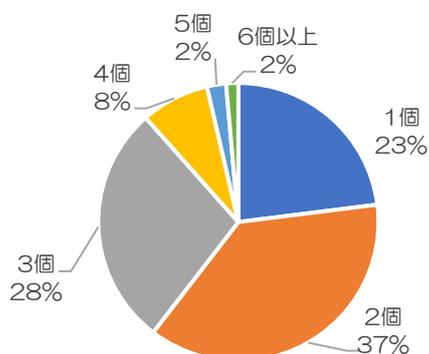


図3. 通学バッグの所有数  
(N=139)

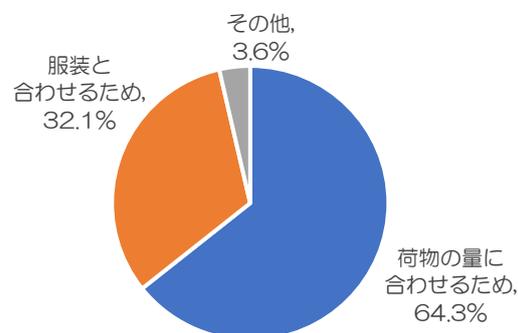


図4. 複数の通学バッグを使い分ける理由  
(N=112)

### (3) 約8割が1万円未満のバッグを使用している

現在最も使用しているバッグの価格を調査したところ、「500円以上 1,000円未満」と回答した人が3%、「1,000円以上 5,000円未満」と回答した人が45%、「5,000円以上 1万円未満」と回答した人が26%、「1万円以上 5万円未満」と回答した人が19%、「5万円以上 10万円未満」と回答した人が4%、「10万円以上」と回答した人が2%、「わからない」と回答した人が1%という結果になりました（図5）。このことから、約8割の人が1万円未満のバッグを使用していました。

現在最も使用している通学バッグの購入方法を尋ねたところ、「店舗」が52.6%、「オンラインショップ」が38.8%、「安い物のため、購入していない」が7.9%という結果になりました（図6）。このことから、毎日使用する通学バッグは実際に手に取って選ぶ人が過半数を超えていました。

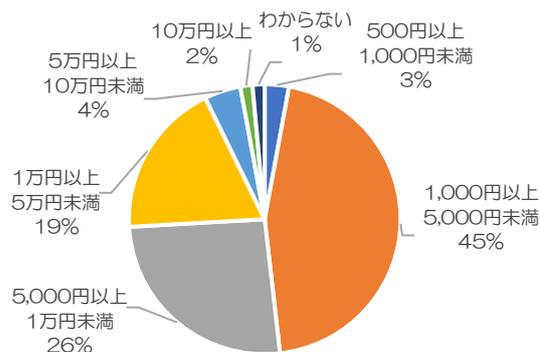


図5. 最も使用している通学バッグの価格  
(N=139)

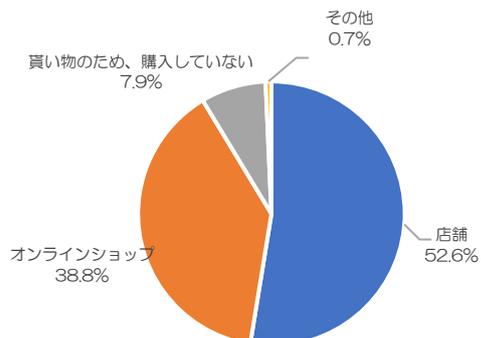


図6. 通学バッグの購入場所  
(N=139)

(4) 毎月自由に使用できる金額が多い人は高額な通学バッグを使用する傾向がある

通学バッグの値段を毎月自由に使用できる金額ごとに比較したところ、毎月自由に使用できる金額が高いほど、全体における通学バッグの平均価格が高いという結果になりました（表1）。

表 1. 使用できる金額とバッグの平均値段（N=137）

自由に使用できる金額	バッグの平均値段
0円～10,000円	5,563円
10,001円～20,000円	6,199円
20,001円～30,000円	8,784円
30,001円～40,000円	15,042円
40,001円～50,000円	12,556円
50,001円以上	25,636円

(5) 多くの人が使用している通学バッグに満足しており、通学时以外でも使用している

現在最も使用している通学バッグに満足しているか尋ねたところ、「はい」が79.2%、「いいえ」が7.9%、「どちらともいえない」が12.9%という結果になりました（図7）。

このことから、大半の人が現在最も使用している通学バッグに満足していました。また、あなたは通学バッグを通学时以外でも使用しているかを尋ねたところ「使用している」が63.3%、「使用していない」が36.7%という結果でした（図8）。

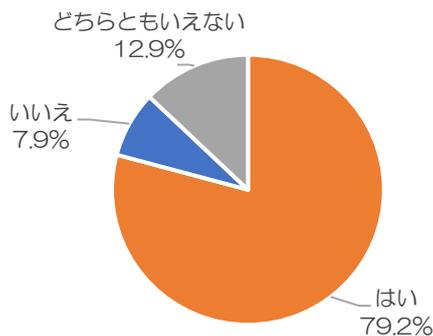


図7. 通学バッグに満足しているか  
(N=139)

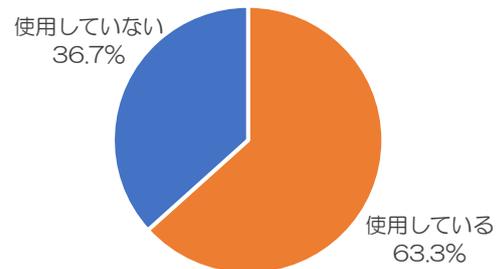


図8. 通学バッグを通学时以外でも使用するか  
(N=139)

(6) シンプルで落ち着いたデザインや色のバッグが多い

普段使用している通学バッグの色を調査したところ、「白系」と回答した人が87人（62.6%）、「黒系」と回答した人が84人（60.4%）と、他の色と比べて圧倒的に多く、次いで「茶系」が21人（15.1%）、「青系」が6人（4.3%）、「赤系」が6人（4.3%）という結果になりました（図9）。また、通学バッグのデザインについて調査したところ、「無地」と回答した人が83人（59.7%）と最も多く、次いで「ロゴ」が49人（35.3%）

「柄」3人(2.2%)という結果になりました(図10)。

このことから、通学バッグの色・デザインは、「黄系」・「緑系」・「赤系」・「青系」、「柄」や「キャラクター」などの派手なものより、「白系」・「黒系」・「茶系」で「無地」や「ロゴ」のシンプルで落ち着いた色やデザインを好む傾向がみられ、飽きることなく、長期間使用できるものを購入していると考えられます。

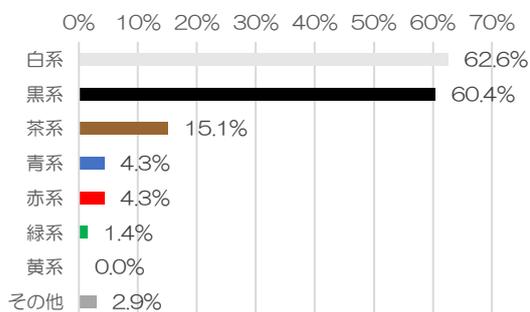


図9. 通学バッグの色  
(N=139)

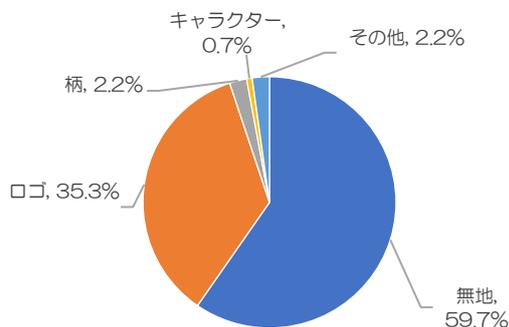


図10. 通学バッグのデザイン  
(N=139)

### (7) 通学バッグは大きさやデザインを特に重視している

通学バッグで重視している点について複数回答で調査したところ、「大きさ」が116人(83.5%)、「デザイン」が103人(74.1%)、「色」が67人(48.2%)、「形(種類)」が65人(46.8%)、「収納力(ポケットの数、仕切り、マチ等)」が55人(39.6%)、「価格」が50人(36.0%)、「軽さ」が50人(36.0%)、「耐久性」が47人(33.8%)、「閉じ口(ファスナー、ボタン等)」が33人(23.7%)、「素材」が25人(18.0%)、「ブランド」が21人(15.1%)、「耐水性」が12人(8.6%)という結果になりました(図11)。

このことから、大きさやデザインを重視している人が特に多く、素材やブランド、耐水性はあまり重視していませんでした。

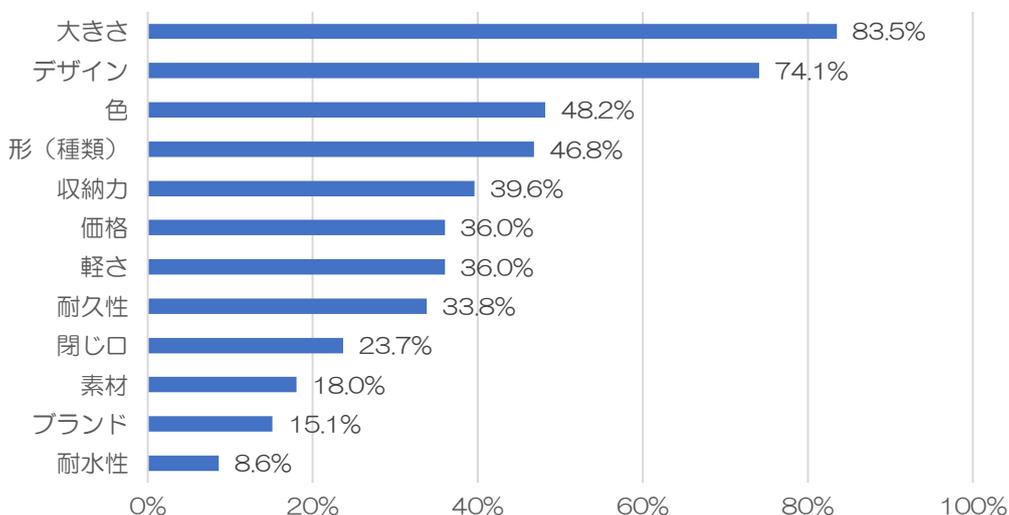


図11. 通学バッグで重視する点 (N=139)

(8) 通学バッグの買い替えを検討するのは、汚れて古くなってきたとき

通学バッグの買い替えの回数を調査したところ、全体の66.2%が「0回（買い替えていない）」と回答しました。次いで、21.6%が「1回」と回答し、「2回」が5.0%、「3回」が4.3%、「4回」が1.4%、「5回以上」が1.4%という結果で、買い替えをしていない人が多いことが分かりました（図 12）。これに関連して、通学バッグを買い替えるタイミングを調査したところ、「汚れて古くなってきたとき」が最も多く43.2%、次いで「壊れて使えなくなったとき」が30.9%、「デザインに飽きてきたとき」が17.3%という結果でした（図 13）。

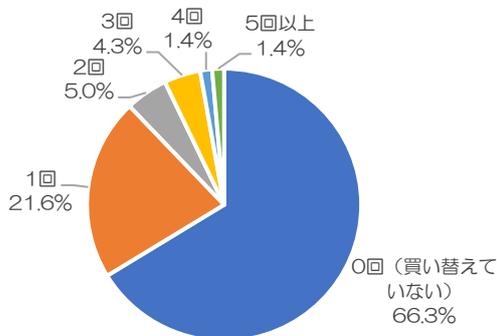


図 12. 通学バッグの買い替え回数 (N=139)

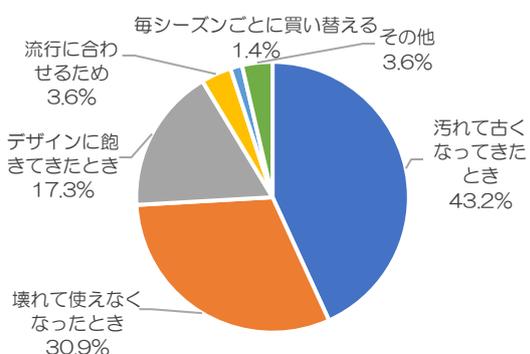


図 13. 通学バッグの買い替えのタイミング (N=139)

(9) 通学バッグで気に入っている点はデザイン

現在使用している通学バッグの気に入っている点を自由回答で調査し、テキストマイニングを行った結果、「デザイン」という単語が大きく表示されました（図 14）。また、「入る」「大きい」「ポケット」などの単語も大きく表示されていることから、多くの人が通学バッグの大きさや収納力を気に入っていました。他には「合わせやすい」という単語が比較的大きくなっており、図 4 の「通学バッグを使い分ける理由」から服装との関連も見られました。

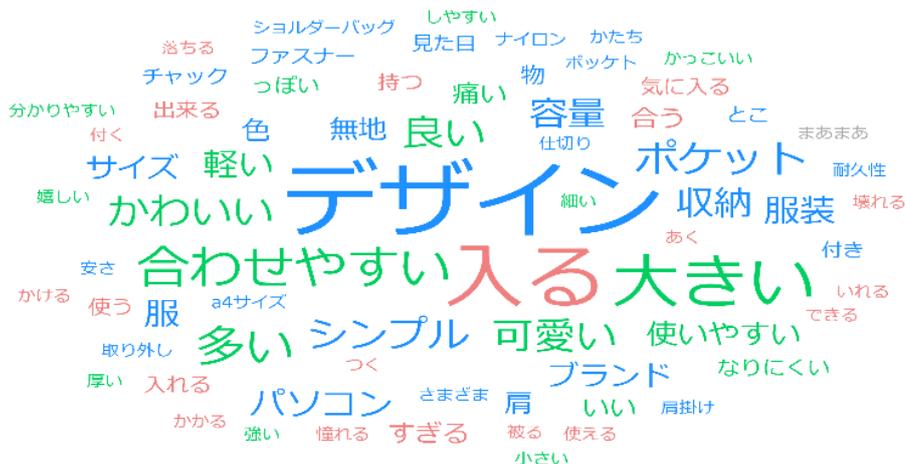


図 14. 通学バッグの気に入っている点 (N=128)



## 考察

今回の調査から、女子大生の多くが通学バッグにおいてデザインや色が落ち着いた「トートバッグ」を使用していました。

また、7割以上の方が通学バッグを2個以上所持しており、用途に合わせて複数の通学バッグを使い分けていました。さらに、使用している通学バッグの価格を全体的に見ると、1万円未満の人が8割を占めており、比較的手に取りやすい価格帯のバッグを使用していました。

そして、毎月自由に使えるお金が多いほど通学バッグの平均価格が高くなるという傾向がみられました。このことから、女子大学生は通学バッグを荷物の量や服装によって使い分けることを目的に通学バッグを複数個所有し、そのために通学バッグに対して多くのお金を掛ける傾向はあまりないと考えられます。

続いて、使用している通学バッグのデザインは約6割以上が「無地」と回答し、シンプルなデザインが好まれる傾向がありました。色は「白系」や「黒系」と回答した人が半数以上であり、次いで「茶系」と回答した人が多かったことから、落ち着いた色を選ぶ人が多い傾向がありました。このことから、飽きることなく長期間通学バッグを使用し続けることを優先する人が多いのではないかと考えられます。また、通学バッグを通学時以外にも使用している女子大学生は6割を超えており、通学時以外の場面においても使用できるように通学バッグを購入している可能性も考えられ、そのことも「無地」や「白系」「黒系」と言った落ち着いたデザイン、色が好まれる要因ではないかと言えます。さらに、購入する際に重視する点は「大きさ」や「デザイン」の回答が最も多く、「ブランド」や「素材」はあまり重視していないことがわかりました。ここから女子大生は通学バッグを購入する際に、「ブランド」などの特別感を求めているのではなく実用性や長期的に使用できることを重視して購入する傾向があると考えられます。

また、テキストマイニングの結果において「通学バッグの悩んでいる点」では、「肩」「痛い」「重い」というワードが大きく表示されました。そして「希望の通学バッグ」では「入る」「軽い」「大きい」「ポケット」などのワードが大きく表示されました。このテキストマイニングの結果から、現在、女子大学生は通学バッグに対して、重たさや肩が痛くなるという悩みを持っており、それらの点から大容量でポケットなどの収納面も良いが軽いという通学バッグが必要とされているのではないかと考えられます。このことから、女子大学生は通学バッグに対して実用性を求めていることが考えられます。

最後に、購入場所は「実店舗」という回答が過半数を占め、「オンラインショップ」が約4割ということから買い物がオンライン化している状況でも、通学バッグは毎日使用するものであるため、実際に手に取り、大きさやデザイン、重さなどを肌で感じてから購入したいと考えている人が多いのではないかと考えられます。

以上のことから、女子大生は通学バッグを複数所有し、荷物の量や服装に合わせて使い分け、大きさやデザインにこだわりを持つ人が多いことがわかりました。通学バッグは日々使用するものであるため、実用性や長期間使用できることを重視して購入していると考えられます。